

広報

ふじ

NO. 178

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

50.4.10 発行



錦町児童公園をバラの花園にと、町内の人達が植樹

昭和50年度市政方針

市議会3月定例会で、渡辺市長は昭和50年度の市政方針をのべましたが、新年度は、地域住民ともつとも密接なつながりを持つ地方自治体の責務として、長期的観点から市政運営の柱に

- ①いのちと健康を守るための課題
- ②快適で住みよい豊かなまちをつくるための課題
- ③こどもや老人などの生活を守るための課題
- ④教育や文化の水準を高めるための課題

の4点を取りあげました。

市民の要望にこたえる予算編成

私は、市長就任以来地方自治の本来の目的にもとづき、市民福祉の向上に通じる施策を推進してまいりました。しかし、都市問題の現実はいぜんときびしく、とくに課題の累積する昭和50年代の地方自治を展望すると、さらに懸命の努力が必要であります。

この課題多き昭和50年代を迎えるにあたって、戦後のわが国における地域開発政策を思い出し、今後の地方自治のあり方や解決すべき課題を明らかにしてまいります。

まず、戦後の20年代は、食料増産電源、地下資源等の基礎的開発が行

われ、30年代は、所得倍増計画にもとづく高度経済成長を基調に、工業を中心とした産業開発にすべての目標をおく政策推進の時代でした。

40年代は、高度経済成長政策推進の過程で生じたへい害が顕著となり、その反省を求める時代でした。

こうした時代の流れを考え、50年代における地方行政は、これらの反省のうえにたつて、自治体が主体制を持ち、市民生活を基調とした個性的で魅力ある都市づくりを進めるべきであると考えます。

そこで、新年度は4つの課題をかかげて、市政運営に取り組んでまい

ります。

第1点は、いのちと健康を守る課題

第2点は、快適で住みよい豊かなまちをつくるための課題

第3点は、こどもや老人などの生活を守るための課題

第4点は、教育や文化の水準を守るための課題

一般会計 173億7500万円

特別会計 84億6940万円

昭和50年度予算の編成は、増大する行政需要にいかに対応していくか苦勞しましたが、福祉や生活環境・教育施設など市民から要望が強い施策を中心に積極的な編成を行いました。また、先にのべた4つの課題を踏まえ、主要事業ならびに市政の行政需要を総点検のうえ、きびしい財政環境下ですが、あえて積極的に予算編成を行いました。

この結果、予算規模は一般会計において173億7500万円、企業会計を含む特別会計は84億6940万円、あわせて258億4440万円となりました。昭和49年度当初予算に比べると、一般会計で38億2500万円、28.2%、特別会計では18億7963万円、28.5%の伸びを示し、総体的には57億463万円、28.3%の増加となりました。



渡辺市長は、毎年市内を回り、地元の人たちから要望を聞くとともに、自分の目で確かめ、市政運営に役立てています。

市政方針の4つの課題にもとづいて昭和50年度の主な事業を紹介します

いのちと健康を守る課題

富士市は、紙パルプ工業を基盤とする産業の伸展によって急激に進行

したため、他都市に比較して市民生活に多くの社会問題が生じ、これま

で積極的に対応してまいりました。これからも、市民の健康を守る保健・医療の充実と公害対策ならびに市民の安全を守るために交通事故防止、火災・災害防除のための施策を進めてまいります。

災害防止対策…

……4億2541万円

大気汚染防止対策の富士方式ともいべき「503計画」は、129工場と協定を結んで以来、企業の努力により排煙脱硫装置・ガス化・灯油化などが計画どおり進んでいます。この503計画も新年度をもって完了するので今後はさらにきびしい新環境基準に対処するため、総量規制を指導してまいります。



また悪臭対策は、公害対策審議会から悪臭物質の環境容量について答申がありしだい、抜本的な対策を進めてまいります。水質

汚濁対策も工場排水規制の段階的強化で徐々に改善されていますが、これまで未規制の有色排水対策について、測色技術を導入し、調査に取り組みます。

なお、汚染物質の科学分析項目の増加などにより、新年度は旧鷹岡事務所2階へ、新たに公害分析センターを設置し、分析機能を充実します。このほか、光化学スモッグ・窒素酸化物・酸性雨などの対策はもとより監視体制を強化し公害問題の早期処理にあたってまいります。

大気汚染に係る健康被害については、公害健康被害補償法にもとづく対象者580人分と富士市公害健康被害補償条例に基づく対象者180人分の予算を措置しました。

成についても必要な措置を行い、市民がより充実した条件のもとで医療が受けられるようにしました。

特定疾患救済…

……125万円

特定疾患対策は、最近ようやく援助の手が差しのべられ、関係者の経済的負担も除々に軽くなりつつあります。スモン・ペーチェット病などの治療助成についても、入院の場合月額6000円、通院の場合月額3000円を支給いたします。

交通安全対策…

……8835万円

歩行者と自転車利用者の事故防止を重点に、交通安全施設については老人や

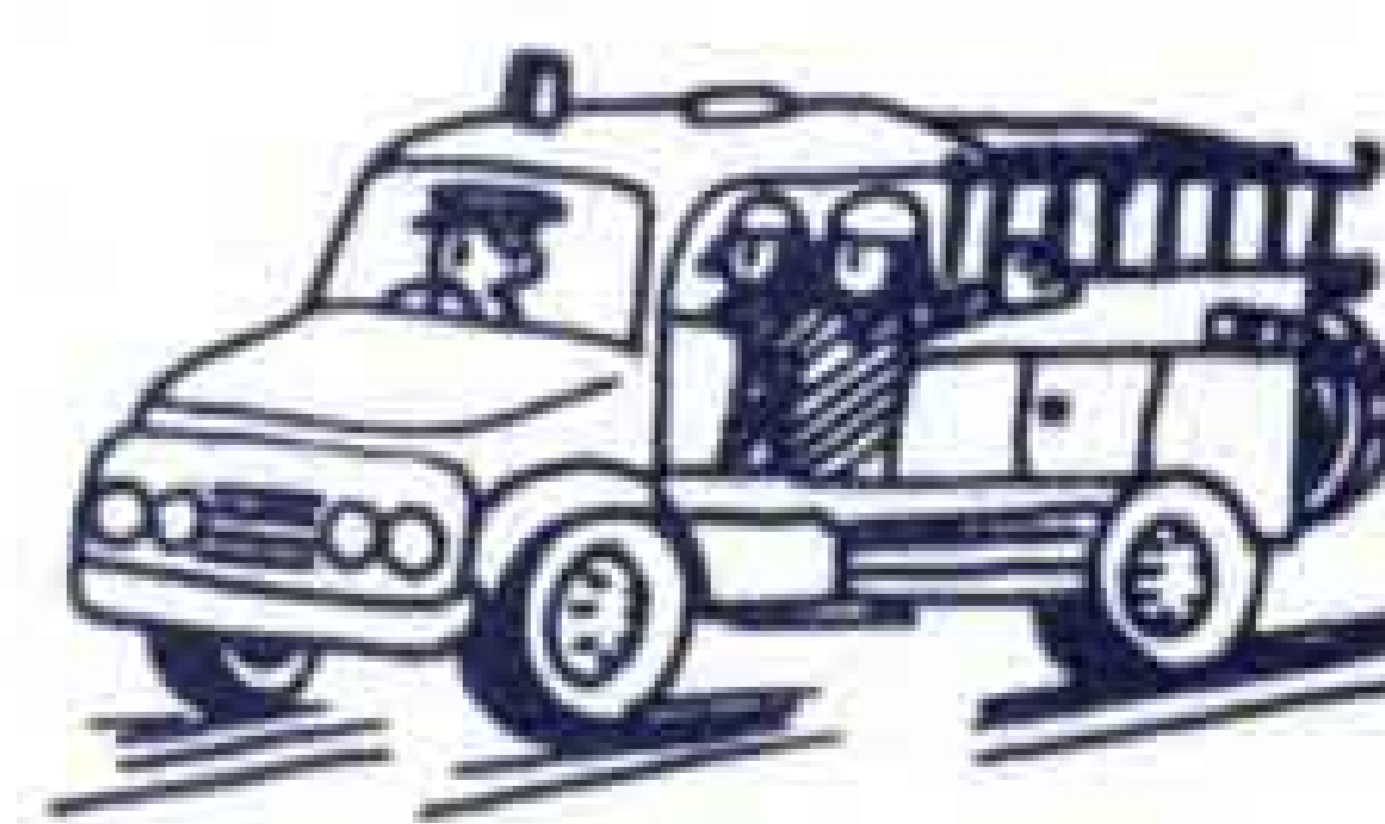


身障者、乳母車などの安全な通行を考へて、歩道や道路照明灯、反射鏡などを整備します。また、学校を中心に地域に密着した指導体制の確立と「幼児交通安全クラブ」の結成を進めていきます。

消防防災対策…

……7億5927万円

市民生活の安全を守るため、消防対策として、仮称北消防分署建設のための用地取得、第22分団詰所の移転新築、普通消防ポンプ車の更新など消防団施設の整備と防火水槽6基の設置を行います。さらに、新しい試みとしてパトロール車などに無線機を登載して日常の市民サービスに力を入れるとともに災害など非常事態発生時の未然防止と、正確な被害状況の把握、通報と的確な対応策の指示徹底など防災機能の向上に役立つための行政無線を設置します。



医療対策と病院事業…

……18億5027万円

市民の健康を守る医療対策は、市立中央病院に医療技術の進歩に対応した検査機器を導入します。また、来院者のための環境を改善するため



待合室の拡張も行います。医師会に対する救急医療などの業務活動に対する助

快適で住みよい豊かなまちをつくる課題

市民の快適な生活を保障し、機能的な都市をつくりあげるためには、より便利な都市環境を総合的に整備

する必要があります。とくに住宅・道路・下水道などをはじめとする生活環境施設の整備は、20万都市として

躍進を続ける本市形成の基盤をなすものであり、これからも積極的に取り組んでまいります。(次ページへ)

住宅対策…

……11億8365万円

国の住宅対策、地価対策に期待しながら、富士見台団地に80戸、田子浦団地に40戸、あわせて120戸の市営住宅を建設します。民間の自力建設を促進するため勤労者持家住宅建設資金融資事業、老人同居世帯、住宅改良資金融資事業についても必要な措置を行いました。老人同居世帯



住宅改良資金融資事業は、貸付限度額を85万円と100万円に引上げます。

道路の整備…

……14億9692万円

新年度は国道1号沼津バイパス、西富士道路の事業促進について、関係機関に対しさらに強く要請します。一般市道についても主要27路線の新設改良をはじめ、舗装、維持改良などを進めます。



都市計画道路は、臨港富士線をはじめ国庫対象8路線と市単独事業による幹線街路などの整備や用地先行取得などを進めてまいります。

緑と自然保護…

……3億8650万円

市民生活に緑の美観と憩いの空間を提供する都市公園の整備や、昨年5月運動公園としてオープン以来多くの市民から親しまれ利用されている富士川緑地を、5カ年計画で10%に拡大造成します。

また総合運動公園の建設は、野球場の早期完成が強く要請されておりますので、51年度使用開始を目標に工事を進めてま



いります。このほか丸火自然公園の整備や街路樹植栽などにあわせ「緑いっぱい市民の会」を中心とする緑化推進組織の活動など、緑化事業を展開します。

また、富士・愛鷹山麓の自然を守るため、山麓の大規模開発を一切認めない方針や、土採取条例など国や他の自治体にさきがけ市独自の施策を行い、一応の成果をあげてまいりました。国はその後、国土利用計画法の制定をはじめ、都市計画法や森林法の一部改正など立ち遅れていた自然保護関係諸法令の整備を行いました。県も愛鷹山自然環境保全地域の指定など短期間のうちに急速な整備を行いました。したがって今後はこれらの効率的な運用で、かなりの

成果が期待できます。

し尿及びごみ処理…

……5億8850万円

全市的観点にたった新たな処理体制確立の検討とともに、ごみ収集車4台の更新と第1・第2清掃工場の焼却施設などを改善し、収集、運搬、処理能率の向上に努めます。

農林業及び中小企業

振興対策…10億4879万円

本市産業の大部分を占める中小企業や農林業などの振興は、豊かなまちづくりへの基盤といえますので、新年度も可能な限り進めてまいります。

農業の振興策としては、引続き土地改良事業などを中心とする土地基盤整備を重点的に取り上げました。

林業については、森林のもつ治水などの公益的機能を高めるため造林保育に対しての助成や優良柱材の生産奨励などで林業の育成をはかります。

中小企業振興策は、小口資金協調融資や季節融資、商工組合中央金庫貸付預託などの増額をとくに考え、融資の円滑化をはかりました。

このほかの施策としては市街地の開発事業、上水道の整備下水道事業なども積極的に行います。

こどもや老人などの生活を守る課題

最近の社会経済情勢の急激な変化は、老人・心身障害者などの社会的弱者に、より深刻な影響をおよぼしています。このような社会的矛盾を解決するには、国や県の施策の枠内で処理するのみでなく、ときには一歩先取りした市独自の施策を行う姿勢が必要です。これまでも童手当の支給、乳児や老人医療の無料化、精神障害者の医療費助成、重度身体障害者介護手当の支給などを実施して

きましたのも、こうした発想にもとづくものです。

**こどもと母親の
ための施策…1億3736万円**

良い環境のなかでこどもの保育が行われることは、働くおかあさん方の最も望むところです。新年度は、周辺環境条件などから移転が望まれていた第2保育園の移転改築事業を、富士地域公害防止計画関連事業

として実施します。また、仮称駅南保育園開設に備えて敷地造成事業を行うとともに、鷹岡地区の民間保育園建設に対する助成や民間保育園運営費助成についても必要な措置を講じました。

このほか、乳幼児医療費の助成についても、4100人分を措置するとともに、児童遊園地についても引続き整備を進め、こどもの健全育成に努めます。



老人対策…4億68万円

老人福祉で大切なことは、お年寄りの憩いと生きがいの場を設けて、広く社会参加の道を開くことといえます。このため新年度は、老人クラブ活動の助長や就労相談などの生きがい対策に加え、新たに社会福祉センターの隣接地へ園芸ハウスを設置し、趣味を生かしながら緑化推進に参加していただきます。

消費者対策…

……10億1644万円

一地方自治体の権限と努力による消費者行政、とくに物価対策はおのずから限界があります。しかし、消費者に直結する自治体としては、市民生活を守る立場から、国や県、業界、消費者との連絡を密にし、可能な限りの施策を展開します。当面、富士市消費者運動連絡会消費生活モニターなどの消費者組織と協調しかしこく強い消費者層を拡大します。



勤労者福祉対策…

……1億1921万円

勤労総合福祉センターの建設は、国の公共事業繰延べなどの影響をうけてすこし遅れています。このほど基本実施計画もきまり、51年6月開設を目途に、4月着工のはこびとなりました。

雇用対策……731万円

労働事情対策連絡会、を設置し、労働調査、情報の把握、再就職の促進、相談などを行うほか、関係機関とも連絡しながら、労働事情の回復がはかれるよう適切な措置を講じます。

教育や文化の水準を高める課題

変化する社会環境に対応するには自らが新しい時代意識を持ち、流動化する社会に合った創造力とたくましい行動力が必要です。そのためには、小中学校など人間形成の基礎的な場としての学校教育環境をより充実することはもとより、社会教育の場や体育施設の整備に努め、心身ともに健全、かつ積極的な市民性を養うことが必要です。

小学校の整備…11億5265万円

生徒数増加による岩松小学校の増築や公害防止計画事業による今泉小学校の改築事業、仮称富士見台小学校新設のため用地取得などを行います。

中学校の整備…6億3804万円

田子浦中学校屋内運動場の新築事業や大淵中学校にプールを建設するほか、須津中学校改築のため設計を委託しました。

幼児教育…1億6618万円

大淵幼稚園保育室の増築と、土地開発公社が田子浦幼稚園移転のため

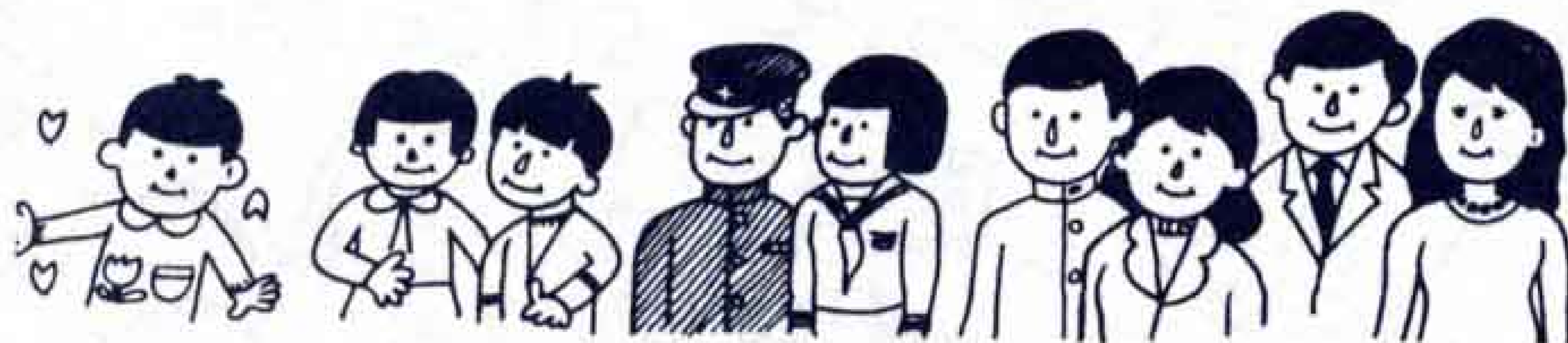
の用地を取得します。このほか、私立幼稚園の父母負担について、本年度、園児ひとり年額2000円を6000円に増額しましたが、新年度はさらに1万円を増やし、保護者負担を軽くしました。

高校教育……2000万円

市立商業高校が専門高校としての機能が發揮できるように、小型電算機の導入など教材備品の整備を行います。

社会教育……6500万円

神戸・今宮などの地域を対象とした仮称北公民館の新築を行います。また、昨年10月完成した少年自然の家も、オープン以来活発に利用されていますので、新年度はより内容の充実した運営管理を行います。



計画的な都市づくりを積極的に

以上昭和50年度における施策の大綱と所信を申し述べましたが、市長就任以来今回で6回目の予算編成となりました。しかし、新年度の予算ほどきびしく、苦勞した編成ははじ

めてで、かつて経験したことのない苦難の年といえます。

このようなきびしい状況下とはいえ、都市の主人公である市民に直結する自治体としては、市民の行政に

対する要望にこたえとともに、計画にもとづいた都市づくりを進めるための施策は、可能な限り実現しなければなりません。インフレ下の不況というきわめて困難な財政環境下ですが、結果的には積極的予算となりました。

一般会計当初予算

歳入
計173億7500万円

★繰入金
5870万円

★市税
97億422万円

★地方譲与税
1億3000万円

★地方交付税
4000万円

★分担金及び負担金
4億2018万円

★使用料及び手数料
2億4524万円

★財産収入
1億6526万円

★娯楽施設
利用税交付金
2600万円

★交通安全対策
特別交付金
2000万円

★諸収入
20億9687
万円

★県支出金
5億2018万円

★寄付金
545万円

★市債
12億8480万円

★自動車取得税
交付金
1億6000万円

★繰越金
4億円

★国庫支出金
21億9810万円

税金をふさめるといふ事は
使い方をよく見るといふ事だ



歳出
計173億7500万円

★総務費
20億8541万円

★議会費
2億1593万円

★土木費
39億6147万円

★労働費
1億3422万円

★農林水産業費
5億8170万円

★商工費
5億7835万円

★民生費
26億2584万円

★衛生費
19億316万円

★災害復旧費
1億4586万円

★消防費
6億457万円

★教育費
33億1502万円

★諸支出金
50万円

★公債費
12億495万円

★予備費
1802万円

各会計別予算

一般会計……………173億7500万円

特別会計……………52億2760万円

＝特別会計＝

国民健康保険事業……………18億9600万円

下水道事業……………4億4700万円

青島・津田土地地区画整理事業清算金
……………1850万円

依田原新田土地地区画整理事業
……………7億3400万円

富士中部土地地区画整理事業

……………8721万円

学校給食事業……………7970万円

魚市場事業……………953万円

地方卸売市場事業……………12億8230万円

駐車場事業……………6170万円

公共用地先行取得事業…5億2220万円

内山……………3258万円

旧吉原……………100万円

旧島田……………209万円

旧今泉……………2765万円

旧今泉・一色・神戸・今宮…1370万円

旧元吉原……………104万円

旧須津……………174万円

旧吉永……………536万円

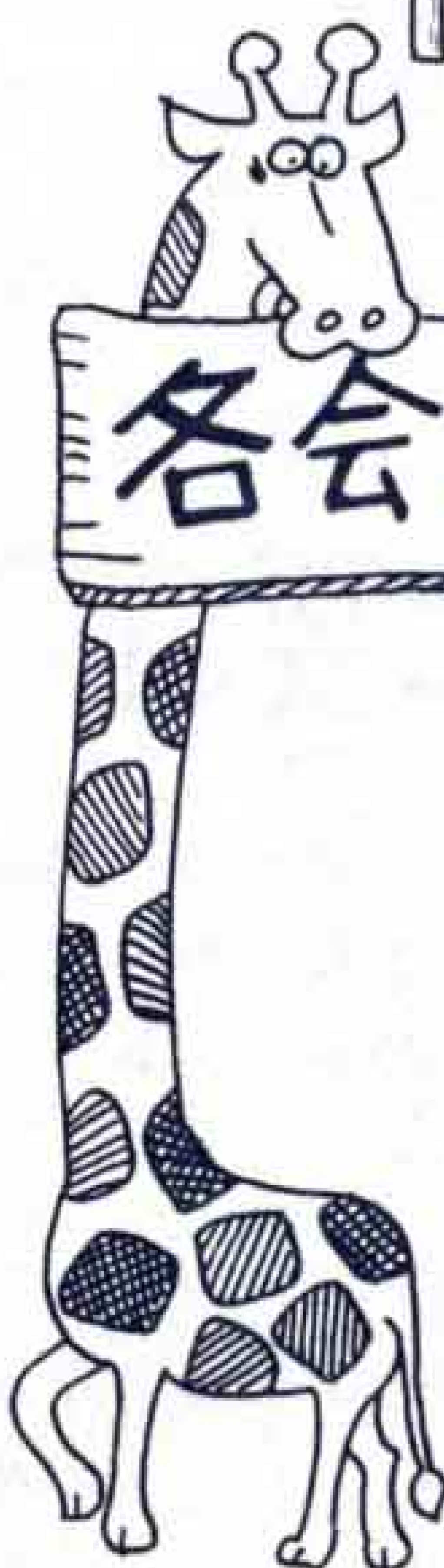
旧原田……………430万円

＝企業会計＝

水道事業……………13億9311万円

病院事業……………18億4869万円

市の予算総額……………258億4440万円



YOKOI 383

少数精鋭で市民サービス

地方自治体の職員数や人件費のあり方が現在論議されて

いますが、この機会に富士市の実情を説明いたします。

社会福祉対策の充実で職員が増加

本市の行財政環境は、地場産業の紙・パルプ業界をはじめとする各企業の不況などを反映し、今後、市税収入の伸びが鈍くなることは必至です。この反面、市税収入に対する人

件費の割合は、高くなり48年度において47.9億、49年度はほぼ50億、50年度当初は56.4億で予算総額の31.5億となります。こうした人件費の増加は、富士市のみでなく、すべての自治体にとって重要な問題となっています。

職員数の増加や人件費の増大の要因としては、急激に増大した行政需

要への対応、国の委任事務の増加、さらに戦後最悪といわれるインフレの進行に伴い、2年間にわたる給与の大幅改訂があげられます。とくに行政需要の増大に伴う職員増は、保育園など社会福祉施設の設置、公民館、幼稚園、消防力の充実、清掃処理能力の強化など市民サービスの向上に直結する部門が増員となっています。

人と仕事の効率的な連けいをはかる

富士市の職員数は3月1日現在2273人、市民87.3人に職員ひとりの割合で、他の人口類似都市に比べすこし多くなっています。しかし、職員数を単に人口の対比だけで多いとか少いとはいえません。その都市における行政のしくみや施設の行政需要、行政姿勢によって異なります。

具体的な例として、ほぼ同じ人口の沼津市と富士市の職員数のうち、特色のあるものを示すと表のとおりです。

この比較だけでも富士市は沼津市

より348人多くなっていますが、この分はすべて市民生活に直結したサービス面です。

職員数は都市それぞれの実態を正確に把握した上で考えなければなりません。今後とも人員の適正化をはかり、人件費の増大を抑えることは当然行っていく必要があります。このため、事務の簡素化、合理化、能率化、機械化をさらに進めるなど人と事務との効率的な連けいをはかってまいります。また、自然退



【社会教育活動に利用されている公民館】

職や勸奨退職などによる一般事務職員の補充は極力最少限にする一方、職員の若返り対策、職員研修なども積極的に行い、少数精鋭主義で市民サービスの低下をきたさないようにいたします。

委任事務の改善なども国に要請

地方財政の圧迫と地方自治の危機を招いているのは、現在の行財政制度の欠かぬも原因となっています。委任事務や財源配分のありかた、超過負担など権限と財源の問題です。とくに、補助金制度は補助基準、補助単価、補助対象などが低く抑えられているため多額の超過負担を生じ

ています。前号でもお知らせいたしました。本市における超過負担は48年度建設費と人件費をあわせ5億7000万円にものぼっています。

これらの制度改善は、一自治体の力で行うことは困難ですから、市民世論をバックに、国に対して強く働きかけていきます。

市 名称	富士市	沼津市
保育園(公立)	19園 174人	5園 50人
心身障害児者 社会福祉対策	3園 47人	1園 43人
老人ホーム	2カ所 18人	1カ所12人
幼稚園(公立)	9園 87人	1園 5人
公民館	12館 41人	1館 4人
市民会館 文化センター	2館 24人	1館 7人
公害環境対策	2課 30人	1課 8人
清掃業務	2工場 122人	1工場83人
林政業務	1課 17人	0
合計	560人	212人

市議会3月定例会には、新年度当初予算案とともに、印鑑条例や手数料徴収条例、老人居室整備資金貸付条例など条例改正、新設条例案が出されましたが、いずれも原案どおり可決されました。

印鑑登録を改正

印鑑証明事務が正確にできるよう印鑑条例を6月1日から全面的に改正いたします。

新しい方法は印鑑登録証制度で、登録された方には「印鑑登録証」を交付します。この登録証がないと印鑑証明を受けることができません。すでに登録してある方も来年5月31

日までに登録をしておいて、登録証の交付を受けていただきます。

なお、このように登録手続きを慎重にしたのは、印鑑証明による事故を防ぐためです。手続きの方法などについては、暮らしのたよりと広報ふじでお知らせいたします。



丸火自然公園の キャンプ場を ご利用ください

丸火自然公園のキャンプ場を使用する方は、経済部林政課へ申込んでください。なお、4月1日からテントの貸出しも行いますのでご利用ください。テントは5人用で1日の料金は次のとおりです。

- ・市内使用者 200円
- ・市外使用者 300円

保険税を算定する中で、所得割額は市民税の所得割額に100分の108をかけていましたが、100分の203になります。

被保険者の均等割はひとり1800円が2520円、世帯別平等割額は一世帯3960円が5400円になります。

老人居室整備資金の 貸付額を引上げ

2人の場合100万円まで

おとしよりがいて部屋数が少ないので増築したい人や、これから住むのに老人部屋をつくりたいという人

に、市は、老人居室整備資金を融資していますが、貸付額の引上げを行いました。

これまで、老人ひとりの場合50万円、2人の場合85万円まででしたが、65万円と100万円になりました。なお、今年度の貸付わくは1000万円で5月中旬に建設部管理課（庁舎4階）で受付を行います。

国民健康保険税を引上げ 保険税の限度額が 8 万円～12万円

昨年2回にわたる医療費の引上げにより、療養給付費など保険給付の大幅な増加が見込まれています。このため、4月1日から被保険者一世帯

当り、前年課税額に対し29%の保険税引上げを行います。

これまで保険税の限度額は8万円でしたが、12万円になります。また

あなたもひとこと 市長に手紙を出しましょう



- 市では、いつでも「市長への手紙」をお受けしています。どんなご意見でもお寄せください。
- 用紙は、市役所、各公民館など市の公共施設にあります。
- 手紙は、切手をはらずに利用できます。
- 回答を必ず出しますので、手紙には住所、氏名、連絡先を必ず書いて下さい

家族そろってお出かけください

天気の良い日曜日、家でゴロ寝しているより、小鳥の声を聞きながら新緑におおわれた林の中でも歩いてみませんか。車や電車で遠くへ遊びに出かけるのもけっこうですが、市内にもよい所がたくさんあります。丸火自然公園、須津川溪谷、岩本山などちょっと足をのばせば、自動車の騒音が小鳥のさえずりや木々のささやきにかわります。今から初夏にかけて一段とすばらしいものです。

それでは、丸火自然公園、岩本山公園のハイキングコース、富士川緑地公園のあらましをお知らせいたしますので、みなさんぜひお出かけください。

◆丸火自然公園

丸火地帯の天然林 100 畝を利用した自然公園です。園内に遊歩道が縦横にあり、散歩しながら植物や熔岩の観察もできます。これまで、富士見ヶ池を中心に大広場、丸火自然館、キャンプ場、展望台、万葉の森などが完成しました。

＜バス停の今宮ゴルフ場入口から歩いて40分、丸火自然公園入口からは20分です＞

◆岩本山公園

実相寺のバス停から七面山を通過して岩本山公園まで1.5㎞、20分ほどかかりますが、家族向けのコースで親しまれています。公園の展望台からは富士川、かりがね堤、市街が手に取るようで、晴れた日には遠く伊豆半島の山々が箱庭のように広がっています。

◆富士川緑地公園

富士川河口の10畝に野球場やソフトボール場、サッカー場、サイクリングロード、遊び場などがあります。公園内にはサツキやツツジ、アペリヤ、キョウチクトウなどを植えてありますが、5月にはサツキ、ツツジが満開です。

＜自由ヶ丘のバス停から歩いて10分です＞

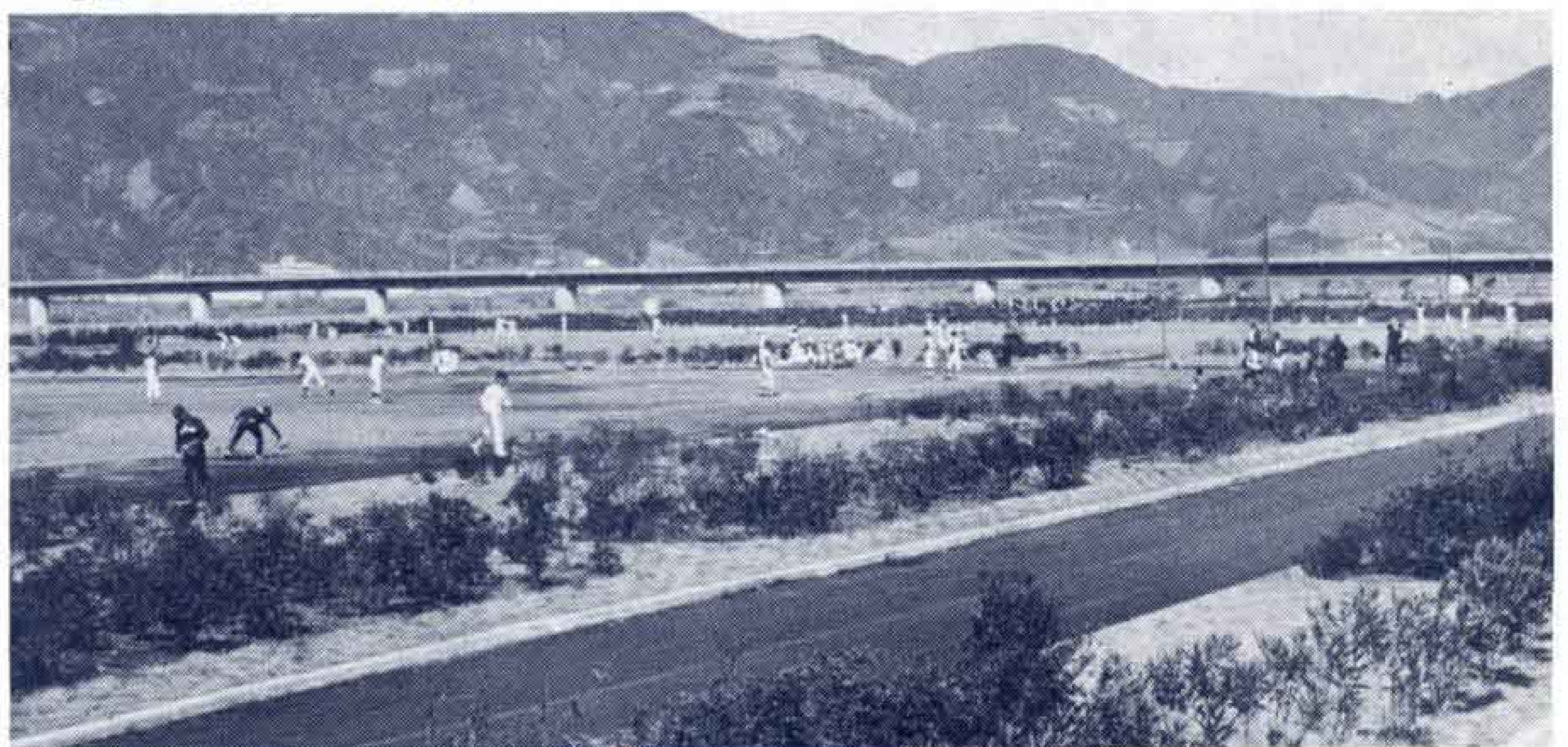
【丸火自然公園】



【岩本山公園】



【富士川緑地公園】



みなさん、あとから来た人が気持ちよく遊べるように、ゴミは持ちかえりましょう。

人口20万達成を祝い 2月18日の出生児に 記念品

富士市の人口が2月8日、20万に達しましたが、この日を記念して3月25日、当日の出生児全員に記念品を贈りお祝いしました。また、両親には市役所西側の公園で記念植樹をしていただきました。

2月8日に生れた赤ちゃんは、太田加奈子ちゃん(柚木)、渡辺和秀ちゃん(神谷町3)、森和樹ちゃん(中村町)、中西のぶ江ちゃん(浮島町2)、坂部嘉明ちゃん(新町)、佐藤

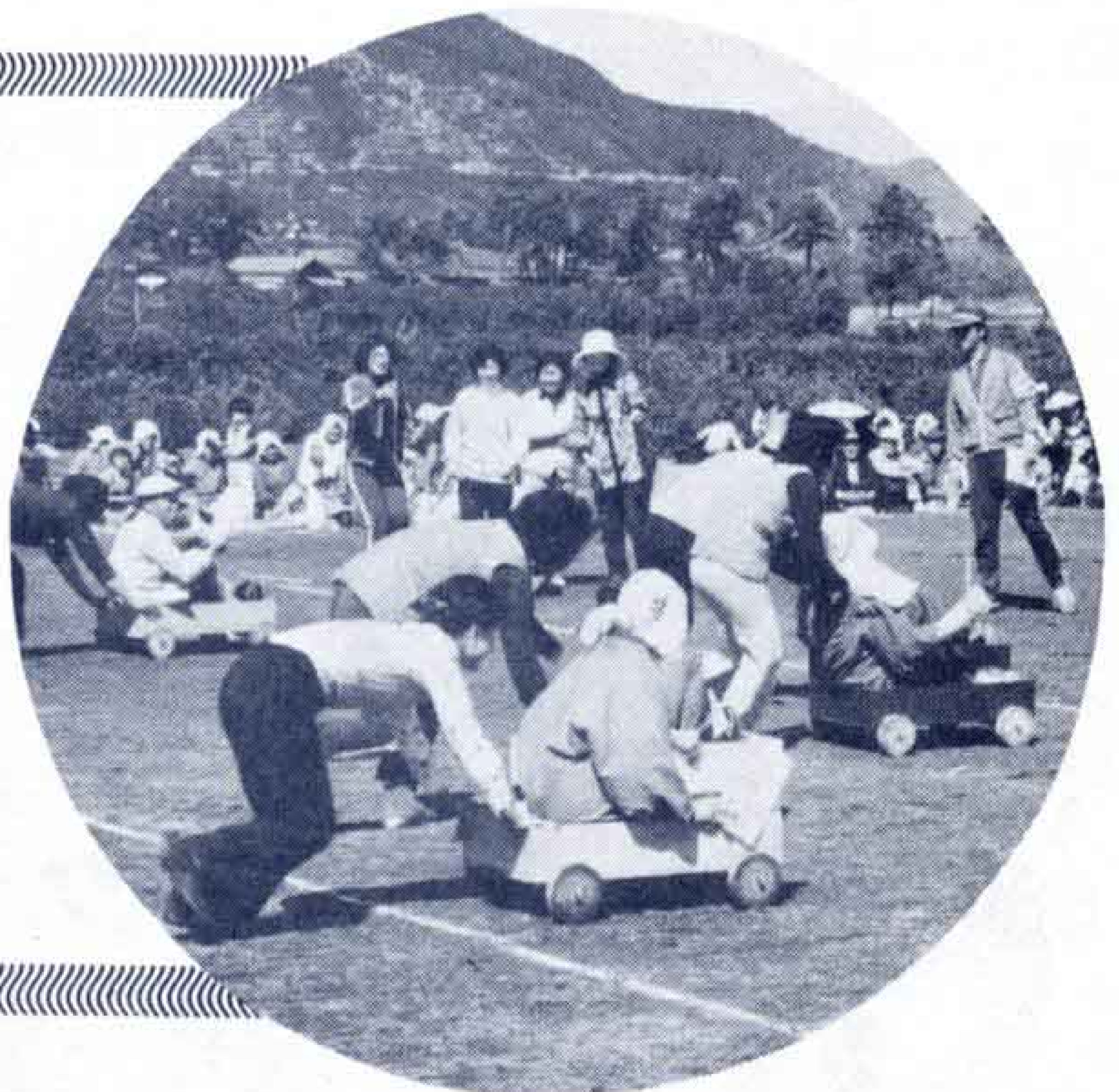


祐子ちゃん(厚原北)、深草英男ちゃん(東比奈3)、中平静美ちゃん(厚原東)、渡辺高志ちゃん(吉原本町)、渡辺こずえちゃん(次郎長)三枝奈々ちゃん(本市場4)の11名です。

嫁と姑のスポーツ祭

岩松地区の老人クラブと婦人会のスポーツ祭を3月30日、中学校の富士川堤防運動場で行いました。風もなく初夏を思わせる日よりで、参加者は600人にもものぼり、お年寄りを車に乗せてゴールまであとおしをする親孝行競走、鈴ならし競走など楽しい種目がいっぱいでした。

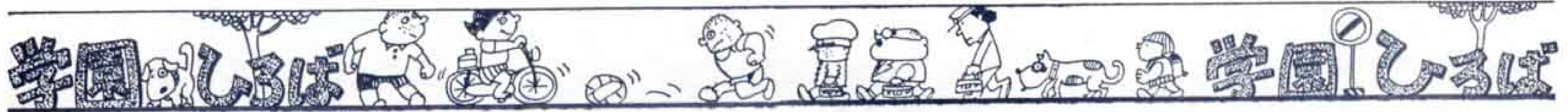
また、スポーツ祭のあと「来たときよりもきれいにして帰りましょう」と全員で清掃し、解散しました。



富士南分署が完成

富士駅南地区や田子浦地区の消防力を充実するため、水戸島に消防署富士南分署の建設を行っていましたが、さきごろ完成し3月28日から仕事を始めました。

南分署は鉄筋コンクリート造り2階建てで、1階は通信室兼事務室、車庫待機室、2階は仮眠室などがあります。職員は分署長以下14名で、消防ポンプ車1台が配置されています。



ふじの歴史 ③

古墳をつくった時代

弥生（やよい）式時代に続いて古墳（こふん）時代になります。今から1600年ぐらい前で、古墳時代と呼ぶのは、当時の豪族（ごうぞく）が自分の権力を示すため大きな古墳（墓＝はか＝）をつくる風習があったためです。権力がある人ほど大きな古墳をつくり、自分が死ぬと武器や装身具、鏡などをいっしょに埋葬（まいそう）しました。

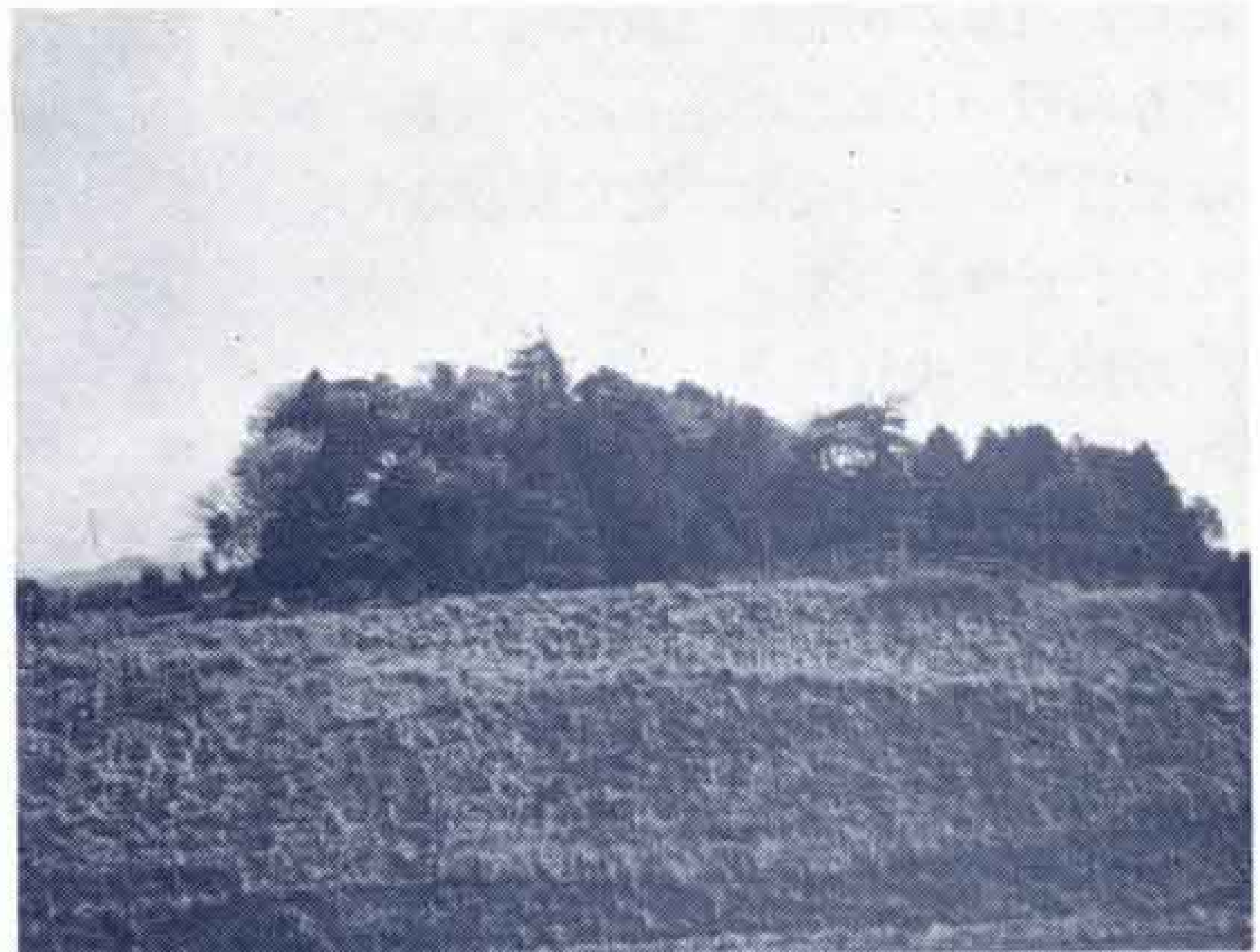
この時代になると稲をつくる農耕生活は日本のほとんどの地域に広が

り、くわやかまなどの農具にも鉄が使われるようになりました。

市内にもたくさんの古墳が山のすそにありますが、なかでも増川の浅間（せんげん）古墳が一番大きくて、このへんではもっとも権力を持っていた人の墓です。

市立中央図書館の資料室には、遺蹟や古墳などから発掘した土器

装身具、鏡などを展示してありますので、一度見にきてください。



【増川の浅間古墳】



小さな親切運動を進める 須津中学校生徒会

須津中学校の1～2年生300人は、4月1日、東名中里バス停や学校付近の清掃、須津川のゴミひろいなどをしました。須津中学校は、小さな親切運動を進め

ていますが、これまでも須津川のハイキングコースにゴミ箱を設置したり、社会を明るくする標語を町内にかかげたりしています。

砂山公園に松植え

鈴川海岸の松が白アリなどの被害で枯れてしまったため、元吉原中学校のみなさんは、3月18日砂山公園に植樹をしてくれました。1年生と3年生の松6000本を1本1本元気よく育てと願いながら植えました。

